

## 第8回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会

日時：令和7年1月28日（火）

午後5時30分～7時

会場：塩尻市役所5階大会議室

### 次第

#### 1. 開 会

#### 2. 挨拶

#### 3. 会議事項

(1) 第7回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ

(2) 学びのイメージに係る意見交換

テーマ 「新しい学校が目指す姿、どんなことができる学校にしていくか」

① 生徒からの発表

② 質疑応答・意見交換

③ グループからの発表

(3) その他 提言

#### 4. 諸連絡

次回の予定

【日時】 4月下旬 ～ 5月中旬

【場所】 調整中

#### 5. 閉 会

## 新校再編実施計画懇話会開催要綱

### (目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

### (会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

### (構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

### (開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

### 附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

## 塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

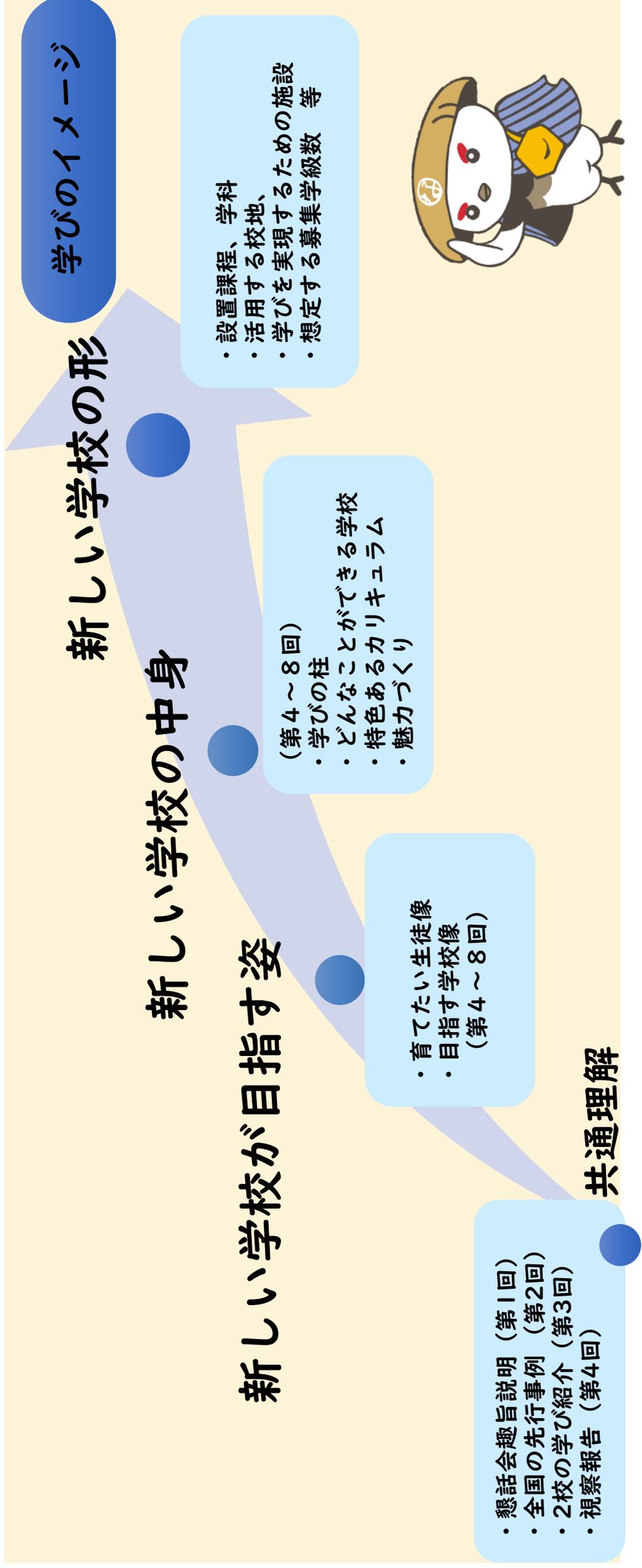
(敬称略)  
○座長

	区分	氏名 (座長○)	所属等
1	自治体	石坂 健一	塩尻市 副市長
2		○ 赤羽 高志	塩尻市教育委員会 教育長
3		根橋 範男	山形村教育委員会 教育長
4		百瀬 司郎	朝日村教育委員会 教育長
5		太田 幸一	塩尻市産業振興事業部先端産業振興室 室長
6	産業界	小松 稔	塩尻商工会議所 会頭
7		林 修一	塩尻市観光協会 会長
8	学識 経験者	渡邊 修	信州大学農学部農学生命科学科 准教授
9		小林 敏一	エプソン情報科学専門学校 学校長
10	地域	中島 紀彦	セイコーエプソン株式会社P総務部 部長
11		横山 暁一	NPO法人MEGURU 代表理事
12		宮島 克夫	松本地域振興局 局長
13	同窓会	赤羽 誠治	塩尻志学館高等学校同窓会 会長
14		霜田 美奈	田川高等学校同窓会 会長
15	P T A	押田 博	塩尻志学館高等学校P T A 会長
16		菱田 岳士	田川高等学校P T A 会長
17		北沢 寿明	東筑摩塩尻P T A連合会 会長
18	小中学校 関係者	千村 哲朗	東筑摩塩尻校長会 代表 (広丘小学校 校長)
19		佐倉 俊	東筑摩塩尻校長会 代表 (塩尻中学校 校長)
20		永田 寛尚	松本養護学校 校長
21	再編 対象校	熊谷 のい	塩尻志学館高等学校 生徒代表
22		中舎水鏡莉	塩尻志学館高等学校 生徒代表
23		浅川 夢羅	塩尻志学館高等学校 生徒代表
24		小岩井 一	田川高等学校 生徒代表
25		鈴木 脩也	田川高等学校 生徒代表
26		池田 葵	田川高等学校 生徒代表
227		堀内 雅司	塩尻志学館高等学校 校長
28		宮入 清志	塩尻志学館高等学校 教職員
29		宮坂 幸登	田川高等学校 校長
30		守屋 秀行	田川高等学校 教職員

## 事務局

塩尻志学館高等学校		田川高等学校		長野県教育委員会	
丸山 明久	教頭・事務局長	内川 源弘	教頭・副事務局長	原 多恵子	高校再編室推進室 主幹指導主事
宮入 清志		守屋 秀行		宮嶋 直美	高校再編室推進室 主任指導主事
寺澤 顕孝				山崎 巖	高校再編室推進室 主任指導主事
深澤和加枝				樽沼 徹	学びの改革支援課 指導主事
高山 直之					
跡部 徹					
征矢 理啓					
中島 和成					

# 「学びのイメージ」 検討手順



## 第7回 塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

<b>日時</b>	令和6年(2024年)12月19日(木) 午後5時30分から午後7時		
<b>場所</b>	塩尻市役所 5階大会議室		
<b>出席 (敬称略、 ◎座長)</b>	石坂 健一、◎赤羽 高志、根橋 範男、百瀬 司郎、小松 稔、渡邊 修、小林 敏一、中島 紀彦、松本 宏隆、横山 暁一、赤羽 誠治、霜田 美奈、押田 博、菱田 岳士、熊谷 のい、中舎 水鏡莉、浅川 夢羅、小岩井 一、鈴木 脩也、池田 葵、堀内 雅司、宮入 清志、宮坂 幸登、守屋 秀行 以上24名		
<b>欠席 (敬称略)</b>	太田 幸一、林 修一、宮島 克夫、北沢 寿明、千村 哲朗、佐倉 俊、永田 寛尚、以上7名	<b>傍聴</b>	9名(内オンライン1名)、報道2社
<b>事務局</b>	塩尻志学館高校：丸山教頭(事務局長)、宮入教諭、寺澤教諭、深澤教諭、征矢教諭 田川高校：内川教頭(副事務局長)、守屋教諭 県教育委員会：原主幹指導主事、宮嶋主任指導主事		
<b>会議事項</b>	(1) 第6回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ (2) 学びのイメージに係る意見交換		
<b>当日資料</b>	次第、第6回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ(案)、会議資料、提言資料		

### 主な内容

- (1) 第6回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ 質問、意見なし → 承認  
 (2) 学びのイメージに係る意見交換  
 テーマ「新しい学校が目指す姿、どんなことができる学校にしていけるか」
- ① 構成員からの提言～「地域」「情報」をキーワードに～  
 ○セイコーエプソン株式会社 中島紀彦 様  
 求める人材  
 ・「創造と挑戦」と「誠実努力」創造性、チャレンジ精神、粘り強さ、常に学ぶ、顧客・外部志向。  
 ・「総合力発揮」コミュニケーション能力、集団で仕事をする楽しさ、難しさを理解できる、グローバル、“Think globally ,Act locally”  
 ○信州大学農学部農学生命科学科 渡邊修 様  
 農業DXの概念  
 ・農業DXとは、ITやロボットを活用した農業のスマート化だけでなく、食や健康の領域まで視野に入れた概念。  
 ・個別の農業生産に加えて、流通や販売、マーケティング、ブランディング、廃棄物処理、CO<sub>2</sub>排出対策なども含めた農業全体を最先端の科学技術やデータ活用を通じて変革しようとするもの。  
 ➡この概念に合致する学びを目標の一つにする。  
 ○NPO法人MEGURU 横山暁一 様  
 これからの社会に求められる人材と学びについて  
 ・「当事者意識」を持つ  
 私は私の人生の当事者であり、家族、学校、会社、地域、日本、グローバル社会全てのコミュニティの「一員」である意識。自分のことは自分で決める、自分は大切な社会の一員である、自分の行動で周囲は変えられる。  
 ・「共創意識」  
 分かりやすい「悪」はいない中、複雑性の高い課題に対して議論を尽くし、多様な個人・他者と手を取り合い、課題解決に導けるか。対立を恐れず議論を尽くす仲間。みんなでビジョンを考える。  
 ・「自己決定」と「自己表現」地域における価値ある存在  
 学生段階から、地域で自分たちの考えたことを発表や企画、販売など「誰かに価値を届ける」経験を積む＝誰かを喜ばせる経験が社会を変える原動力にする。
- ② 「学びのイメージ素案」について意見交換(全体討議)  
**【感想】**  
 ・ふるさとに寄せる思いを培う。主体的にフィールドに飛び出していき、そして自分の課題を自分事として学んでいくことの必要性がある。高校生が地域に入りこんで大人と一緒に課題解決に取り組んでいく。基礎となる学びと並行してフィールド(地域)での主体的な学びを大切にする。  
 ・提言を聞いて、育てたい生徒像の中の「チャレンジする生徒」にあるように、積極的に主体的になれたらいいと思う。自分もチャレンジしていきたい。  
 ・自分もチャレンジしていきたい。MEGURUが行っている地域の大人と語りロールモデルに出会える活動を、ぜひ高校でもやってみたい。自分の将来が決まっていなくて科目も選択できないので、将来に向けて考える機会を多く作ってほしい。
- (3) その他  
 ○(石坂構成員より) 懇話会にて個人としての考えを提言したいので、次回懇話会で時間をいただきたい。→承認

### その他

**【次回】** 日時：1月28日(火) 会場：塩尻市役所5階大会議室 内容：学びのイメージに係る意見交換

学びのイメージ 「育てたい生徒像」「目指す学校像」 素案③

◇ キーワード

つけたい力・伸ばしたい力

目指す学校の姿・学び

主体性（自主性）	やりたいことをやれる、自己実現、可能性、ゆとり
行動力	探究 課題発見
コミュニケーション力	多様性、多様な学び、普通のその先へ
他者尊重（思いやり 共助）	居心地のよい学校
粘り強さ	開かれた学びの場
社会を広くとらえる視野、世界とつながる	地域連携、貢献、地域の学校、みんなの学校

育てたい生徒像

<b>自分の軸を持ち自己肯定感を高め、積極的に創造し、探究しチャレンジする生徒</b> 創造し、チャレンジする生徒	主体性 探究
<b>豊かな心を持ち他者を尊重できる生徒</b> 他者を尊重し互いを認め合う生徒	他者尊重 共助、 <b>協働</b> コミュニケーション力
<b>粘り強く学び続け、自分の道を切り開き、世界に羽ばたく生徒</b> <b>世界に羽ばたく生徒</b>	行動力 粘り強さ 自己実現

◇ 目指す学校像

<b>生徒が主人公となり、社会と生徒とともにつくり成長し続ける学校</b> 生徒が主人公	自主性 みんなの学校
<b>多様な経験、学び、人との出会いを通して一人一人の可能性を広げられる学校</b> 出会い（人、学び、経験）可能性を引き出す	多様性 居心地のよい学校 可能性、ゆとり
<b>地域を学びのフィールドとして地域との共創を目指す学校</b> 地域と共創	地域 課題発見

その他：載せたいキーワード

- \* 普通のその先へ！学校はオモシロイ
- \* キャリア教育
- \* 個に寄り添った、個別最適な
- \* **自己肯定感**
- \* 教員も日々成長し学び続ける学校

## 「どんなことを学べる学校にしたいか ～具体的な学びの内容や取り組み～」 Ver.2

\* 赤字：追加した項目 具体的な項目に下線 / 下線 : 具体的な取り組み

## ■多様な学び人との出会い（内容、活動）

多様な学び、科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストなど専門家と共に創作活動ができる、<u>・アートやクラフトの学びを取り入れる</u></li> <li>・いろいろな外国語、多彩な科目、国際交流の推進、探究的な取組、ディベート</li> <li>・情報発信・情報サイエンスが学べる、<u>Steam教育、IT・デジタル、できれば工業が学べる→情報活用</u></li> <li>・プログラミング、マルチメディアなど情報を学ぶ</li> <li>・ビジネス・情報系列の拡大（充実）</li> <li>・ブドウ収穫などの多くの生徒が参加できる学校独自の活動を残してほしい</li> <li>・農業を大切にしたい。<b>食や健康の領域まで視野に入れた学び</b></li> <li>・趣味を学べる学校、趣味がつくれる学校</li> <li>・興味あることをとことん学べる科目</li> </ul>
基礎の充実	・1年次に基礎基本（特に5教科）をしっかりと学び、それが土台となり、社会に出てから成長する基となる
学びの深化	・1年生でしっかりと基礎基本を学び、2・3年生で選択科目を学び選択の幅を広げ、興味を持ったものを学ぶ
多様な選択肢	・生徒が好きなことを見つけられる、好きなことが学べるように選択の範囲を広げる
柔軟な選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択肢を広げることも大事</li> <li>・大学の授業選択をイメージ</li> <li>・科目選択を柔軟にできる・進路実現における多様な科目が取れる</li> </ul>
単位認定	・校外での学習に係る単位認定
学びのスタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士が教えあうことで学びにつながる</li> <li>・動きのあるアクティブな授業や主体性のある学びを実施していく</li> <li>・オンライン授業やインターンシップなど積極的に外に出ていく</li> </ul>
個別最適な学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特性として学びにくさを持っていても、自分の得意なことを伸ばすことのできる学校</li> <li>・休みの場、特別視されない場所があると良い、中高接続のための特別支援の充実</li> <li>・自由な学びの形・<u>休む時間を個々に決められる</u></li> <li>・学ぶ場所や居場所を選べる学びのスタイルがあるとよい</li> </ul>
学びの環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインで学習できるスペースや</li> <li>・グループに分かれて少人数で学べるフレキシブルな学習スペースなどの環境</li> <li>・本物に触れて学習できる環境</li> <li>・探究活動ができる施設、指導者がいる</li> </ul>
人との出会い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門の人の話を聞きあこがれを持ち、自分探しをする中で目標が見つけれられる</li> <li>・科目選択や進路にあたり、卒業生、先輩方から話を聞く機会を増やしてほしい</li> <li>・異なる学年の生徒と一緒に学んだり研究したりする授業があるとよい</li> </ul>
部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動も多様性、部活動も活発</li> <li>・やりたい部活動など人を集めればすぐに作れるようにしたい</li> </ul>
可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校時代から自分のやりたいこと好きなことを見つけられる学校</li> <li>・得意を伸ばせる</li> </ul>

## ■地域と共創

地域の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩尻市のユニークな部分を活かす</li> <li>・県内のみならず、全国的にみてもユニークな教育ができるのではないかな</li> </ul>
連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、県総合教育センター、地域のいろいろな方が参画できる学校</li> <li>・塩尻市DXセンター、県総合教育センターと産学官民、新校が連携した教育</li> </ul>
学びのフィールド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に出て学びができる学校 <b>・生徒が地域に関わる意識を持つ</b></li> <li>・学校を飛び出して人や社会と繋がる学びの展開から人に伝えたくなり、コミュニケーション力をつける学校</li> <li>・土曜日もオンラインで繋がり探究できるなど、授業や学校だけの学びから発展した学び</li> <li>・オンライン授業やインターンシップなど積極的に外に出ていく</li> </ul>
課題発見、探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を大切に自分事として自己の課題を発見し協働し課題を解決できる</li> <li>・学んだことを課題研究につなげて地域に飛び出し課題を追究していく</li> <li>・地域と協力して探究活動、興味があることをつき詰めたい、探究と協働</li> <li>・インターネットで検索できない情報を自分たちで集め（新規性）、地域課題を見つける</li> <li>・地域の大人と共に学び、ふるさとに寄せる思いを培う</li> <li>・仲間とともに地域に出て、自分事にする学びを深める <b>・当事者意識の醸成</b></li> </ul>

## ■生徒が主人公「私は私の人生の当事者」

主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分ごととして、私が、という一人称で語れる生徒</li> <li>・自分のことは自分で決める、自己決定</li> </ul>
他者尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗しても学び続けられる雰囲気がある</li> <li>・社会で働くためにバランスよく集団での規律や常識を身につけてほしい</li> </ul>
生徒会・自治	・自治、生徒会活動を自立して運営する